

1990年(平成2年)6月20日(木曜日)

山陰では数少ないベンチャー型(知識集約型)企業、小松電機産業(島根県八雲村)の社長。このほど、周辺の地場の異業種七社で協同組合テクノくにびきを設

## 交差点

立、理事長に就任した。

「産業人として、利益を追い求めることにより、人間としてどう生きるべきかを常々考えてきた。事業を起こして、今年で十五年。

協同組合テクノくにびき理事長

小松 昭夫氏(45)



## 技術と人間の調和探る

大きな転機と思い、協同組合設立を呼び掛けました」  
 協同組合テクノくにびきは、異業種が集まり、技術・経営ノウハウなどを融合した新しい事業展開を目指すベンチャー型グループ。ハイテクと人間らしさの調和を統一テーマに、半世紀先を見据えたCI戦略を打ち出している。「ハイテクで人間らしい生き方が損なわれてはならない。テクノロジで、島根県の発展、新しい国引きに少しでも貢献できれば」と、夢を広げている。